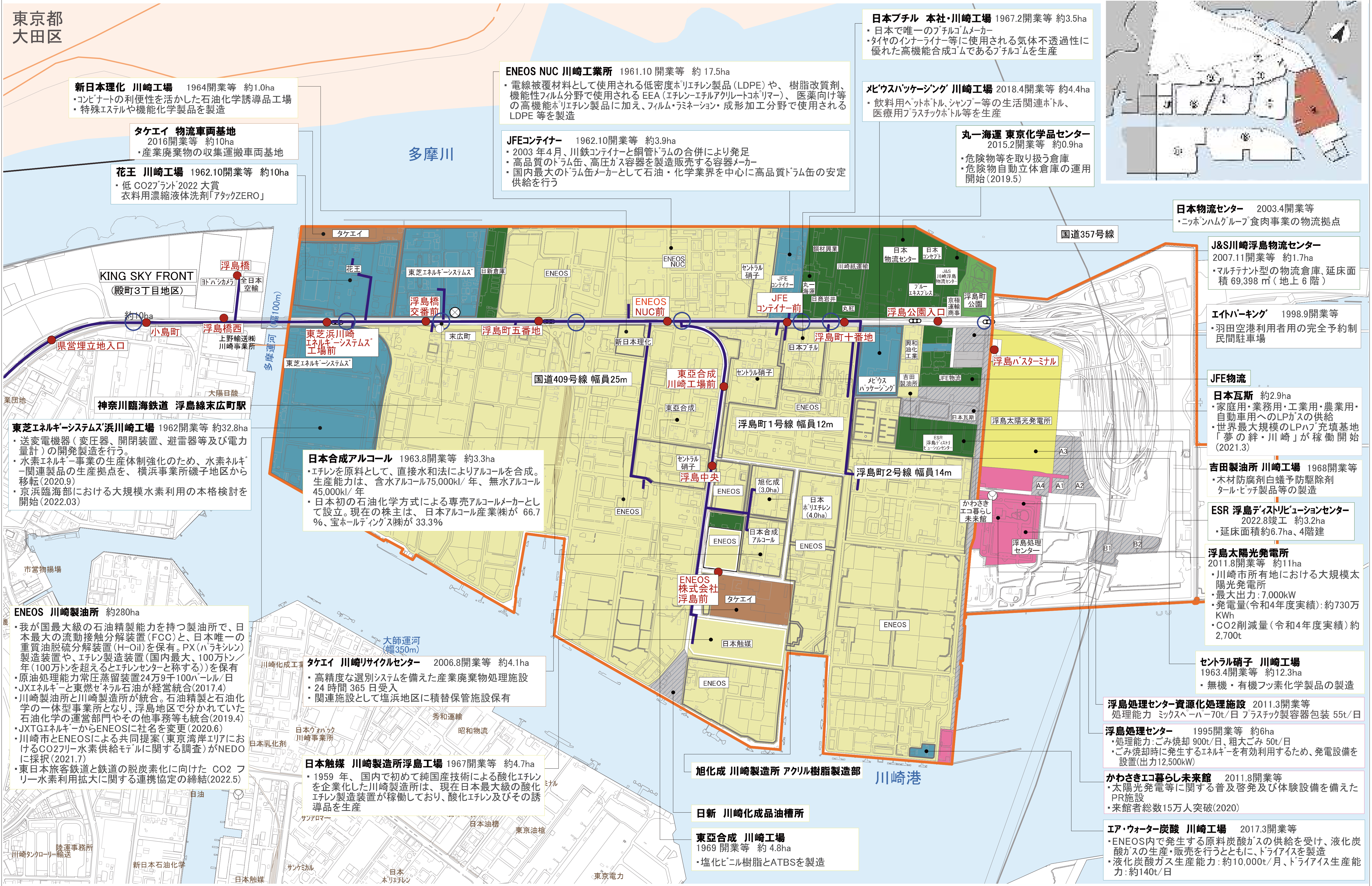
浮島町地区・浮島地先地区

4

凡例

— 市域
▭ 対象地区範囲
● バス停
○ 鉄道駅
— 工業用水道
⊗ 警察署
⚲ 消防署
🟨 製造（石油・石油化学）
🟦 製造（石油・石油化学以外）
🟫 リサイクル
🟪 公共用地
🟩 物流
🟨 エネルギー
▨ その他
🟩 公園等
🟧 研究開発

SCALE 1/12000



東京都
大田区
多摩川
多摩運河（幅100m）
大師運河（幅350m）
川崎港
KING SKY FRONT
（殿町3丁目地区）
約10ha
ﾖﾄﾞﾊﾞｼｶﾒﾗ
全日本空輸
上野輸送㈱
川崎事業所
大陽日酸
業団地
市営物揚場
浮島橋
浮島橋西
小島町
県営埋立地入口
東芝浜川崎エネルギーシステムズ工場前
浮島橋交番前
浮島町五番地
ENEOS NUC前
JFEコンテイナー前
浮島町十番地
浮島公園入口
浮島バスターミナル
東亞合成川崎工場前
浮島中央
ENEOS株式会社浮島前
末広町
タケエイ
花王
東芝ｴﾈﾙｷﾞｰｼｽﾃﾑｽﾞ
日新倉庫
ENEOS
ENEOS NUC
ｾﾝﾄﾗﾙ硝子
JFEｺﾝﾃｲﾅｰ
丸一海運
鋼材興業
川崎紙運輸
日本物流センター
日本ｺﾝｾﾌﾟﾄ
J&S川崎浮島物流センター
ﾌﾞﾙｰｴｷｽﾌﾟﾚｽ
京極運輸商事
浮島町公園
日商岩井
丸紅
新日本理化
日本ﾌﾞﾁﾙ
ﾒﾋﾞｳｽﾊﾟｯｹｰｼﾞﾝｸﾞ
興和油化工業
吉田製油所
JFE物流
日本瓦斯
浮島太陽光発電所
ESR浮島ﾃﾞｨｽﾄﾘﾋﾞｭｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ
国道357号線
国道409号線 幅員25m
浮島町1号線 幅員12m
浮島町2号線 幅員14m
東亞合成
旭化成（3.0ha）
日本ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ（4.0ha）
日本合成アルコール
日本触媒
かわさきエコ暮らし未来館
浮島処理センター
A1
A2
A3
A4
B1
B2
川崎化成工業
日本乳化剤
日本ｳｫﾊﾟｯｸ川崎事業所
秀和運輸
昭和物流
日油
ｻﾝｱﾛﾏｰ
日本油槽
東京油槽
ｻﾝｹﾐｶﾙ
日本ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ
東京電力
日本石油化学
陸運事務所
川崎ﾀﾝｸﾛｰﾘｰ輸送

新日本理化 川崎工場 1964開業等 約1.0ha
- ｺﾝﾋﾞﾅｰﾄの利便性を活かした石油化学誘導品工場
- 特殊ｴｽﾃﾙや機能化学製品を製造

タケエイ 物流車両基地 2016開業等 約10ha
- 産業廃棄物の収集運搬車両基地

花王 川崎工場 1962.10開業等 約10ha
- 低 CO2ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ2022 大賞 衣料用濃縮液体洗剤「ｱﾀｯｸZERO」

ENEOS NUC 川崎工業所 1961.10 開業等 約 17.5ha
- 電線被覆材料として使用される低密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ製品（LDPE）や、樹脂改質剤、機能性ﾌｨﾙﾑ分野で使用される EEA（ｴﾁﾚﾝ-ｴﾁﾙｱｸﾘﾚｰﾄｺﾎﾟﾘﾏｰ）、医薬向け等の高機能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ製品に加え、ﾌｨﾙﾑ・ﾗﾐﾈｰｼｮﾝ・成形加工分野で使用される LDPE 等を製造

JFEｺﾝﾃｲﾅｰ 1962.10開業等 約3.9ha
- 2003 年４月、川鉄ｺﾝﾃｲﾅｰと鋼管ﾄﾞﾗﾑの合併により発足
- 高品質のﾄﾞﾗﾑ缶、高圧ｶﾞｽ容器を製造販売する容器ﾒｰｶｰ
- 国内最大のﾄﾞﾗﾑ缶ﾒｰｶｰとして石油・化学業界を中心に高品質ﾄﾞﾗﾑ缶の安定供給を行う

日本ブチル 本社・川崎工場 1967.2開業等 約3.5ha
- 日本で唯一のﾌﾞﾁﾙｺﾞﾑﾒｰｶｰ
- ﾀｲﾔのｲﾝﾅｰﾗｲﾅｰ等に使用される気体不透過性に優れた高機能合成ｺﾞﾑであるﾌﾞﾁﾙｺﾞﾑを生産

ﾒﾋﾞｳｽﾊﾟｯｹｰｼﾞﾝｸﾞ 川崎工場 2018.4開業等 約4.4ha
- 飲料用ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ、ｼｬﾝﾌﾟｰ等の生活関連ﾎﾞﾄﾙ、医療用ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾎﾞﾄﾙ等を生産

丸一海運 東京化学品センター 2015.2開業等 約0.9ha
- 危険物等を取り扱う倉庫
- 危険物自動立体倉庫の運用開始（2019.5）

日本物流センター 2003.4開業等
- ﾆｯﾎﾟﾝﾊﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ食肉事業の物流拠点

J&S川崎浮島物流センター 2007.11開業等 約1.7ha
- ﾏﾙﾁﾃﾅﾝﾄ型の物流倉庫、延床面積 69,398 ㎡（地上 6 階）

ｴｲﾄﾊﾟｰｷﾝｸﾞ 1998.9開業等
- 羽田空港利用者用の完全予約制民間駐車場

JFE物流

日本瓦斯 約2.9ha
- 家庭用・業務用・工業用・農業用・自動車用へのLPｶﾞｽの供給
- 世界最大規模のLPﾊﾌﾞ充填基地「夢の絆・川崎」が稼働開始（2021.3）

吉田製油所 川崎工場 1968開業等
- 木材防腐剤白蟻予防駆除剤 ﾀｰﾙ･ﾋﾟｯﾁ製品等の製造

ESR 浮島ﾃﾞｨｽﾄﾘﾋﾞｭｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ 2022.8竣工 約3.2ha
- 延床面積約6.7ha、4階建

浮島太陽光発電所 2011.8開業等 約11ha
- 川崎市所有地における大規模太陽光発電所
- 最大出力：7,000kW
- 発電量(令和4年度実績)：約730万KWh
- CO2削減量（令和4年度実績）約2,700t

ｾﾝﾄﾗﾙ硝子 川崎工場 1963.4開業等 約12.3ha
- 無機・有機フッ素化学製品の製造

浮島処理ｾﾝﾀｰ資源化処理施設 2011.3開業等
処理能力 ﾐｯｸｽﾍﾟｰﾊﾟｰ70t／日 ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製容器包装 55t／日

浮島処理ｾﾝﾀｰ 1995開業等 約6ha
- 処理能力：ごみ焼却 900t／日、粗大ごみ 50t／日
- ごみ焼却時に発生するｴﾈﾙｷﾞｰを有効利用するため、発電設備を設置(出力12,500kW)

かわさきｴｺ暮らし未来館 2011.8開業等
- 太陽光発電等に関する普及啓発及び体験設備を備えたPR施設
- 来館者総数15万人突破(2020)

ｴｱ・ｳｫｰﾀｰ炭酸 川崎工場 2017.3開業等
- ENEOS内で発生する原料炭酸ｶﾞｽの供給を受け、液化炭酸ｶﾞｽの生産・販売を行うとともに、ﾄﾞﾗｲｱｲｽを製造
- 液化炭酸ガス生産能力：約10,000t／月、ﾄﾞﾗｲｱｲｽ生産能力：約140t／日

神奈川臨海鉄道 浮島線末広町駅

東芝ｴﾈﾙｷﾞｰｼｽﾃﾑｽﾞ浜川崎工場 1962開業等 約32.8ha
- 送変電機器（変圧器、開閉装置、避雷器等及び電力量計）の開発製造を行う。
- 水素ｴﾈﾙｷﾞｰ事業の生産体制強化のため、水素ﾈﾙｷﾞｰ関連製品の生産拠点を、横浜事業所磯子地区から移転（2020.9）
- 京浜臨海部における大規模水素利用の本格検討を開始（2022.03）

日本合成アルコール 1963.8開業等 約3.3ha
- ｴﾁﾚﾝを原料として、直接水和法によりｱﾙｺｰﾙを合成。生産能力は、含水ｱﾙｺｰﾙ75,000kl／年、無水ｱﾙｺｰﾙ45,000kl／年
- 日本初の石油化学方式による専売ｱﾙｺｰﾙﾒｰｶｰとして設立。現在の株主は、日本ｱﾙｺｰﾙ産業㈱が 66.7%、宝ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ㈱が 33.3%

ENEOS 川崎製油所 約280ha
- 我が国最大級の石油精製能力を持つ製油所で、日本最大の流動接触分解装置（FCC）と、日本唯一の重質油脱硫分解装置（H-Oil）を保有。PX（ﾊﾟﾗｷｼﾚﾝ）製造装置や、ｴﾁﾚﾝ製造装置（国内最大、100万ﾄﾝ／年（100万ﾄﾝを超えるとｴﾁﾚﾝｾﾝﾀｰと称する））を保有
- 原油処理能力常圧蒸留装置24万9千100ﾊﾞｰﾚﾙ／日
- JXｴﾈﾙｷﾞｰと東燃ｾﾞﾈﾗﾙ石油が経営統合(2017.4)
- 川崎製油所と川崎製造所が統合。石油精製と石油化学の一体型事業所となり、浮島地区で分かれていた石油化学の運営部門やその他事務等も統合(2019.4)
- JXTGｴﾈﾙｷﾞｰからENEOSに社名を変更（2020.6）
- 川崎市とENEOSによる共同提案（東京湾岸ｴﾘｱにおけるCO2ﾌﾘｰ水素供給ﾓﾃﾞﾙに関する調査）がNEDOに採択（2021.7）
- 東日本旅客鉄道と鉄道の脱炭素化に向けた CO2 フリー水素利用拡大に関する連携協定の締結(2022.5)

タケエイ 川崎ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ 2006.8開業等 約4.1ha
- 高精度な選別ｼｽﾃﾑを備えた産業廃棄物処理施設
- 24 時間 365 日受入
- 関連施設として塩浜地区に積替保管施設保有

日本触媒 川崎製造所浮島工場 1967開業等 約4.7ha
- 1959 年、国内で初めて純国産技術による酸化ｴﾁﾚﾝを企業化した川崎製造所は、現在日本最大級の酸化ｴﾁﾚﾝ製造装置が稼働しており、酸化ｴﾁﾚﾝ及びその誘導品を生産

旭化成 川崎製造所 ｱｸﾘﾙ樹脂製造部

日新 川崎化成品油槽所

東亞合成 川崎工場 1969 開業等 約 4.8ha
- 塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂とATBSを製造